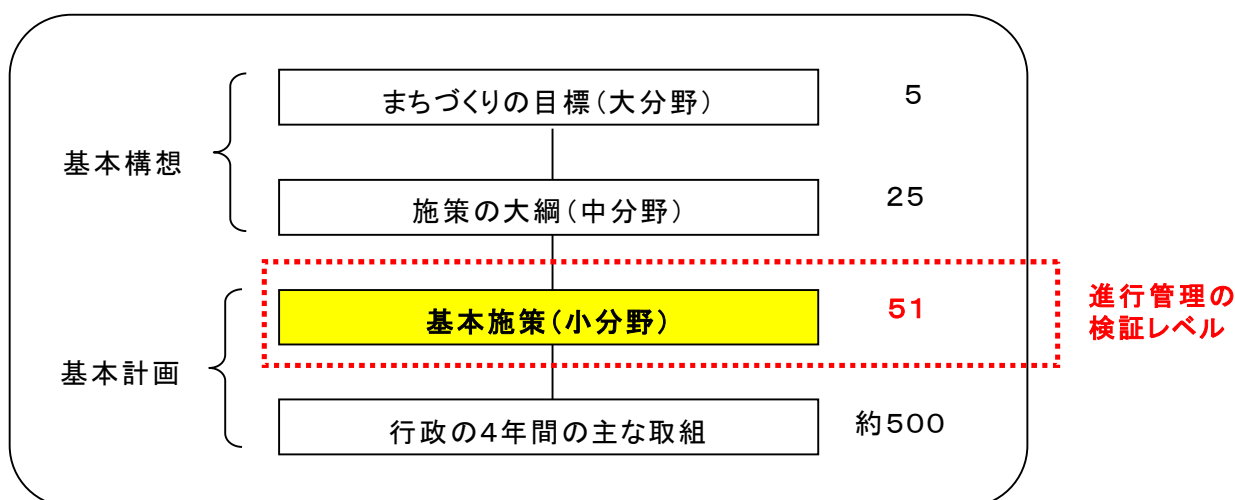


後期基本計画の進行管理について

1. 対象

第5次総合計画では、生駒市の将来都市像「市民が創る めくもりと活力あふれるまち・生駒」を実現するため、5つの『まちづくりの目標』を掲げ、25の『施策の大綱』、51の『基本施策』を位置付けており、基本施策に約500の取組を掲げているが、後期基本計画を構成する最も基本的な単位である51の基本施策（小分野）を対象とする。

< 施策の体系 >



2. 進捗状況の検証

市民の視点から進捗状況を測る「市民実感度」と、定量的・客観的で分かりやすい「指標」の2つの手法を用いて、客観、主観の両面から進捗状況の検証を行う。

また、「行政の取組状況」の結果と併せ、事前に行政内部において計画の進捗状況の検証、分析を行い、計画の進捗度合いを測っている。その上で、外部委員会（総合計画審議会）において行政内部で測った進捗度について進行管理検証シートをもとに審議を行い、審議会からの意見を付した上で、最終的な計画の進捗度とする。

審議に当たっては、行政内部で事前に計画の進捗状況検証し、各部会に分かれて検証を行うが、昨年同様に担当課の出席は求めず、質問は事前に書面で事務局を通して行い、部会3回と全体会1回程度で検証報告書を取りまとめる。

(1) 市民実感度

小分野ごとに掲げている「4年後のまち」の現状について、市民がどのように感じているかを尋ねる市民満足度調査を実施し、その調査結果に基づいて実感度を測る。市民の実感度といった尺度を加えた市民による計画の進捗状況。

(2) 指標

小分野ごとに掲げている「4年後のまち」の実現に向けて、その達成度合いを測る「ものさし」となる客観的に数値化可能な、その分野で代表的な指標を設定している。指標は、市が行った事業実績（アウトプット）や各施策の成果が捉えられるもの（アウトカム）を設定している。また、目指す値については、後期基本計画から1年ごとに目指す値を設定し、達成状況を毎年度測ることができるよう前期基本計画から改善している。

(3) 市民等の役割分担

市民については、市民満足度調査において役割分担に関する取組状況の設問を設けており、その調査結果に基づいて市民の取組状況を測る。

(4) 行政の4年間の主な取組

「具体的な事業」に掲げている事業について、昨年度の取組状況と取り組む上での課題を各担当課において整理し、取組の進捗状況を測る。

(5) 分野全体の進捗状況

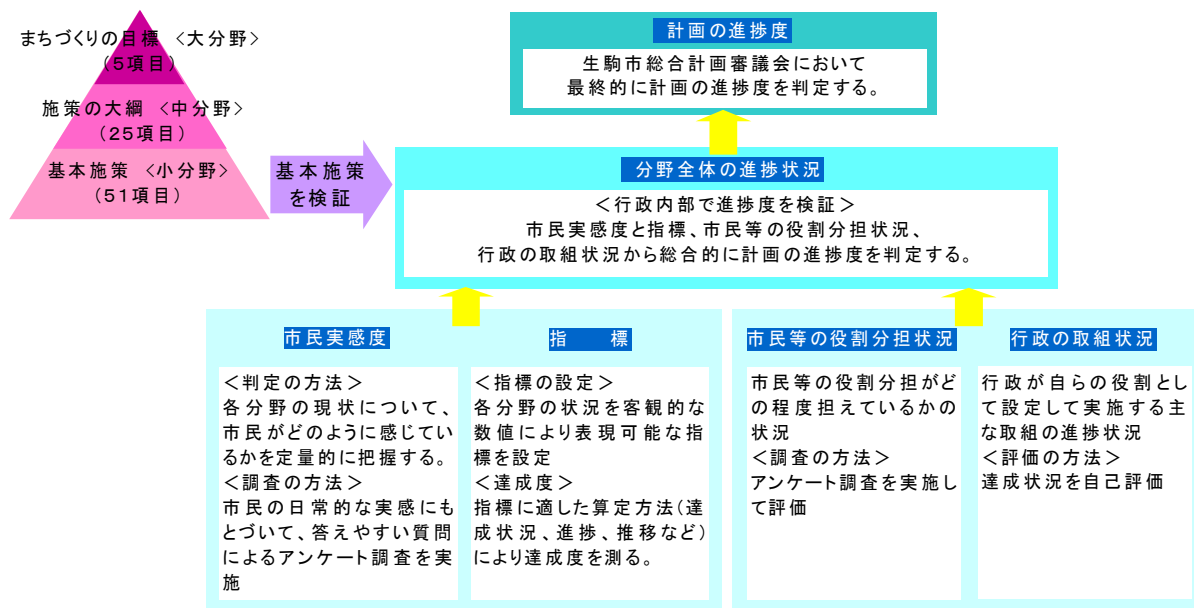
市民実感度と指標の達成度、市民等の役割分担状況、行政の4年間の主な取組状況から、まちの現状が「4年後のまち」にどれだけ近づいているか、かつ社会情勢等も勘案しつつ、「4年後のまち」の実現に向けて設定した目標への程度進捗しているかをA～Eの5段階で進捗度を測っている。進捗度の基準は、概ね次のような区分としている。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| A：4年後のまちが十分に十分に実現されている | D：4年後のまちがあまり実現されていない |
| B：4年後のまちがかなり実現されている | E：4年後のまちが全く実現されていない |
| C：4年後のまちがある程度実現されている | |

(6) 総合計画審議会の意見

事前に行政内部で検証した進捗度をベースに、審議会において行政内部で測った進捗度について進行管理検証シートをもとに審議を行い、審議会からの意見を付す、あるいは理由を付した上で行政の進捗度を変更するなどして、最終的な計画の進捗度とする。

< 進行管理の全体像 >



3. 検証の体制

総合計画審議会では、審議会委員（12名）を3つの部会（各4名）に分け、全51分野を行政経営・安全分野（16分野）と都市基盤・環境・安全分野（18分野）、福祉・教育分野（17分野）に区分して、それぞれの部会において進捗状況の検証を行う。部会終了後に全体会を開催し、各小分野の検証結果のとりまとめを行い、検証報告書の作成を行う。進行管理を行う部会は、7、8月に第一部会、第二部会、第三部会それぞれ2回開催予定。

< 生駒市総合計画審議会各部会開催日程（進行管理） >

	第1回	第2回
第一部会	7月10日 13:30	7月31日 13:30
第二部会	7月19日 13:30	7月24日 14:00
第三部会	7月25日 13:30	8月1日 13:30

4. 部会別検証分野

<第一部会>

[検証分野] 行政経営・安全分野

小分野No.	小分野名	分野数
1 市民が主役となつてつくる、参画と協働のまち		
	(1)まちづくりにおける市民の参画と協働	10分野
111	市民協働	
112	情報提供・情報公開	
	(2)地域活動・市民活動の活性化	
121	地域活動・市民活動	
	(3)人権の尊重	
131	人権	
132	男女共同参画	
133	多文化共生	
	(4)健全で効率的な行政運営の推進	
141	行政経営	
142	行政サービス	
143	財政	
144	職員・行政組織	
4 いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち		
	(6)人にやさしい都市環境の整備	6分野
461	バリアフリー	
	(7)地域防災体制の充実	
471	災害対策	
472	自主防災	
473	消防	
	(8)生活の安全の確保	
481	交通安全	
482	防犯・消費者保護	

計 16分野

委員構成

中川 幾郎	帝塚山大学名誉教授
森岡 文夫	生駒市自治連合会副会長
福谷 理佐	生駒市消防団女性広報指導分団長
吉田 満美子	公募委員

<第二部会>

[検証分野] 都市整備・環境分野

小分野No.	小分野名	分野数
3 環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち		
	(1)適切な土地利用の推進	13分野
311	土地利用	
312	住宅環境	
313	拠点整備	
	(2)交通ネットワークの整備	
321	道路	
322	公共交通	
	(3)環境配慮社会の構築	
331	①5R (リデュース・リユース・リユース・リペア・リサイクル)	
332	環境保全活動	
	(4)生活環境の整備	
341	生活排水対策	
342	公害対策	
343	地域美化・環境衛生	
344	上水道	
	(5)緑・水環境の保全と創出	
351	自然的資源	
352	公園・緑化	
5 地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力のあるまち		
	(1)学研都市との連携	5分野
511	学研都市	
	(2)農業の振興	
521	農業	
	(3)商業・工業の振興	
531	企業立地	
532	商工業	
	(4)観光と多様な交流の促進	
541	観光・交流	

計 18分野

委員構成

久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
中谷 充隆	生駒商工会議所理事
楠下 孝雄	生駒市環境基本計画推進会議副代表
中山 恵美子	公募委員

<第三部会>

[検証分野] 福祉・教育分野

小分野No.	小分野名	分野数
2 子育てしやすく、だれもが成長できるまち		
	(1)子育て支援の充実	11分野
211	母子保健	
212	保育サービス	
213	子育て支援	
	(2)学校教育の充実	
221	幼稚園教育	
222	学校教育	
223	特別支援教育	
	(3)生涯学習の推進	
231	生涯学習	
232	青少年	
	(4)文化・スポーツ活動の推進	
241	文化活動	
242	歴史・伝統文化	
243	スポーツ・レクリエーション	
4 いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち		
	(1)地域で助け合い、支え合う仕組みの整備	6分野
411	地域福祉活動	
	(2)健康づくりの推進	
421	健康づくり	
	(3)医療サービスの充実	
431	医療	
	(4)高齢者の生活を支えるサービスの実施	
441	高齢者保健福祉	
442	社会保険	
	(5)障がい者の生活を支えるサービスの実施	
451	障がい者保健福祉	

計 17分野

委員構成

高取 克彦	畿央大学健康科学部准教授
谷中 重紀	生駒市民生・児童委員連合会会長
藤尾 庸子	生駒市健康づくり推進員連絡協議会会長
村上 一美	公募委員